



表紙写真：全日本少年軟式野球大会で準優勝した芳賀中野球部  
空：芳志戸 赤羽光次さん「二重の虹」

No. 147

2013年8月23日発行  
議会だより

はが

6月議会定例会

6月定例会概要（報告、条例制定・改正ほか）	2～3
意見書	4
一般質問	5～10
聲〈こえ〉私のいいたいこと	11
議会日誌・表紙写真募集・編集室	12



# 一般会計補正予算など7議案を可決 6月定例会の概要

平成25年第4回町議会定例会は、6月4日から7日までの4日間の会期で開かれました。

初日の6月4日は、町長から提出された議案の提案理由の説明後、同意案件の採決が行われました。

一般質問は4日に2名、6日に4名の議員が登壇し、執行部の方針などについて質問を行いました。

最終日の7日には報告、議案への質疑を行い採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。また、総務・教育民生・産業建設の各常任委員長から申し出のあった閉会中の継続調査について、発議案件の採決が行われ、定例会を閉会しました。

## 〈報 告〉

□線越明許費線越計算書の報告  
(平成24年度芳賀町一般会計)  
(質疑なし)

□公益財団法人芳賀町農業公社  
の経営状況説明  
(質疑なし)

□芳賀町ロマン開発株式会社  
の経営状況説明  
(質疑なし)

## 〈条 例 改 正〉

□芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

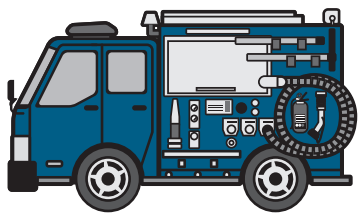
## 〈補正予算〉

□平成25年度芳賀町一般会計  
総額に、6,761万1千円を追加し、予算総額66億6,761万1千円とするものです。

歳入内訳の主なものは、第19款前年度繰越金6,417万2千円、です。

歳出内訳の主なものは第6款農林水産業費の内繰り上げ償還するための繰出金4,759万8千円、第12款公債費繰上げ償還するための償還元金です。

□平成25年度芳賀町農業集落排水事業特別会計  
(質疑・討論なし、原案可決)



## 〈選任同意〉

□芳賀町監査委員に樋谷力氏  
平成25年6月30日付けを持って任期満了となる樋谷 力氏(祖母井)を引き続き最適任者として選任することに同意しました



樋谷 力氏

## 〈発 議〉

□降霜及び低温による梨被害農家に対する支援の意見書の提出について

(質疑・討論なし、原案可決)  
〈意見書については、4ページに掲載〉



梨の凍被害

# 議会閉会中の所管事務調査



総務・教育民生・産業建設の各常任委員会は、最終日の7日に所管事務調査のテーマを議長に申出し、採決の結果、許可されました。

各常任委員会は、閉会中に次のテーマについて調査研究を行い、12月議会定例会までに調査結果を報告します。

常任委員会名	調査の内容	調査の目的
総務常任委員会	芳賀チャンネルの有効活用について	現在、芳賀チャンネルでは、教育、福祉等の行政情報が発信されているが、更に内容の充実を図るために調査
教育民生常任委員会	小中学校における外国語教育について	芳賀町の小中学校ではALTとJTEが担当教諭と共に語学指導に当たっている。国際化が進む日本において外国語の必要性は年々高まり、小学校の英語教育が必須とされるなど変化する教育環境への対応が求められている。高いレベルの語学教育に自治体としてどう対応すべきか先進事例を視察、調査研究する。
産業建設常任委員会	県道バイパス開通に伴う将来のまちづくり	芳賀バイパス開通により、祖母井地区の商店街の利用状況の変化が予想される。道の駅や温泉、保健センター等町施設と一体化したまちづくりあるいは民間活力を導入したまちづくりについて、調査研究する。

## 6月27日臨時会の概要

平成25年第5回町議会臨時会は、6月27日の1日間の会期で開かれました。主な議案は町長等・教育長・一般職員の給与減額に関する条例の改正・制定とそれに伴う予算の減額補正です。

### 〈条例改正〉

- 芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 芳賀町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

### 〈反対討論〉 市川 宗司議員

(起立多数、原案可決)

### 〈条例制定〉

- 芳賀町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

### 〈質疑〉 市川 宗司議員

(討論なし、原案可決)

### 〈補正予算〉

- 平成25年度芳賀町一般会計

### 〈質疑〉 市川 宗司議員

(討論なし、原案可決)

## 賛否の公表 第4回定例会・第5回臨時会案件の採決結果

\*小林隆志議員は議長のため採決に加わりません

	議案番号	議案名	議決年月日	採決結果	水沼孝夫	北條勲	市川宗司	小林一男	石川保	増淵さつき	直井一之	小林俊夫	大根田和子	岩村治雄	杉田貞一郎	小林信二	大島浩	見目匡	賛成	反対	
第4回定例会	38号	芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	6/7	多	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	12	2
第5回臨時会	43号	芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	6/27	多	○	○	×	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	12	1
	44号	芳賀町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について																			
	45号	芳賀町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	6/27	多	○	○	×	○	×	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	11	2

## 大根田和子議員逝去



大根田和子議員さんが去る7月16日（64歳）ご逝去されました。平成19年4月に初当選されて以来、数少ない女性議員として特に子育て支援や教育の面で、女性目線での細やかさを発揮し、活躍されました。在任中は、建設産業常任委員会副委員長を歴任し、今年5月には教育民生常任委員会副委員長・国民健康保険運営協議会委員に選任され、それぞれの分野で活動中でした。



道半ばではありませんが、ご冥福をお祈りいたします。

## 降霜及び低温による梨被害農家に対する支援の意見書

4月中下旬の降霜及び低温による農作物被害が栃木県内各地で発生した。芳賀町では、特産作物である梨栽培農家において、6億3,500万円（5月9日現在）という甚大な被害を受けた。さらに、被害程度も限りなく皆無（被害程度7～9割）に近い状況であることから、出荷はもとより加工販売から観光イベントに至るまで当面の見通しが立たない状況である。

梨は永年性の作物のため、果実の無い現状においても例年どおりの薬剤散布などの管理育成が必要となり、また、果実が無いと樹勢が強くなってしまい完全に回復するまでに3年の期間が必要となる。

栃木県においても、農漁業災害対策特別措置条例を適用して、病虫害防除用農薬購入費、樹草回復用肥料購入費や災害経営資金の利子補給などの支援措置はあるが、金額的に被災農家の復旧には程遠いものである。また、農業共済制度での保証制度もあるが、現行制度だけでは救済は困難な状況である。

今回、被害を受けた地域は、2011年3月11日の東日本大震災において、家屋の全壊や半壊など、当町でも被災を多く受けた地域であり、現在その復旧の最中である。そのような状況の中で、梨栽培農家は二重の被害になってしまい、今後の農業経営の見通しや生活設計も立たない窮地に陥っている。

今後、町として被害農家の支援にあたり経営資金はもとより、生活・子育て・医療など各分野における包括的な対応・負担軽減のための対策を進めていく必要があるので、甚大な被害の現状を認識していただき、国から特段の支援を賜りたく要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月12日

栃木県芳賀町議会 議長 小林 隆志

内閣総理大臣	安倍	晋三	様
内閣官房長官	菅	義偉	様
総務大臣	新藤	義孝	様
財務大臣	麻生	太郎	様
農林水産大臣	林	芳正	様

# 町民にLRT(次世代型路面電車システム)の説明を



## 町 時期が来れば明らかにします

石川 保 議員

**問**

芳賀町は宇都宮市の事業であるLRTを佐藤市長に対し市貝町、茂木町と共同により、茂木町まで延長されたいという要望書を提出している。

しかし芳賀町はLRTによる「まちづくり」を明確にしていな

い。将来における芳賀町の発展に向け必要とあらば一定の道筋と将来像を示さなければなりません。

そして、それらを町民に説明する責任があります。LRTがいかに必要なのか、これからの芳賀町に本当に必要なのか、であればその必要性を説明し、そして町の費用負担と将来における費用対効果を説明する必要があると思います。

基幹公共交通として  
LRTの早期実現を要望

**答**

町長 東西基幹公共交通LRTとして早期実現を要望したものです。

**問**

芳賀町、そして茂木町へと延長して芳賀町そのものがどのような街づくりを描いている

のか町民に説明すべきではありませんか。

**答** 町長 まだ何処に通るかわからないので、先のことは考えていません。

**問** LRTについて、その必要性を町民に対しアンケートを取るべきではありませんか。

**答** 町長 その時期が来れば数字的にも明らかにしアンケートします。

**問**

芳賀工業団地内にJRバスターミナルの基地ができました。選択技として例えばBRT(バス高速輸送システム)ではなくLRTで行くという根拠をお尋ねいたします。

**答**

町長 BRTは検討もしていません。



BRT (バス高速輸送システム)

「岐阜流星ライナー(岐阜バス)」



富山市LRT視察研修

特産梨の低温被害

町の支援は

**答**

町長 県農漁業災害対策特別措置条例の迅速適用、防霜ファンなどの施設補助、町独自としては、見舞金の交付、災害経営資金利子補給また町県民税や国民健康保険税、介護保険税の減免措置などの支援を考えています。

**問**

芳賀町特産梨の低温被害が6億3,500万円ということです。甚大な被害状況であります。

県知事も13日来町し県議会議員や国会議員も党や会派関係なく多くの方が被害状況を視察に来られ、確認していただきました。

県農漁業災害対策特別措置条例の適用をすると確約の報道もありました。

そこで、芳賀町独自に特産である梨農家を守るため、どのような支援策をお考えかお尋ねしたい。





### 市川 宗司 議員

# 農地水保全管理支払交付金について

## 町 協定に従って管理監督してまいります

**問** 西高橋町道3023号線と町道0218号線の交差点土留め工事について、道路使用可及び施行承認申請も提出されないうまま、完了されました。これからルールと安全管理を無視した工事を町道管理者として容認されるのか伺いたい。

今後、事前工事着工はしない！と指摘

**答** 町長 交差点の土留め工事について、道路管理者以外の者が道路に関する工事を行う場合、道路法24条により、道路管理者と協議の上、工事の承認を受けるとされています。ご指摘の工事は農地・水事業の一環として施行されるもので、既に完了しています。

西高橋環境保全推進協議会から町に対して道路施行承認申請はされておらず、承認を受けないうで施行されたものです。

西高橋環境保全向上委員会責任者へ、事後となりますが、工事施工承認申請と今後、事前工事着工はしないという指導をしたところです。

町としてはこのような工事を行う場合の手続きについて、より

一層周知を行い、地域の皆様のご協力の下適正かつ安全に管理をしてまいります。



町道3023号線と0218号線の交差点

**問** 本交付金については人件費が大きなウエイトを占めており、平成23年度いわゆる日当として支払われたものが4,450万円、24年度4,030万円、過去2年で全体の34.8%に、なりま

ず。人件費は現金で支払われており、税制上不明瞭な点が見受けられます。そこで源泉徴収をされた

ほうがよろしいのではと、伺います。

全体説明会を行い  
必要な方には修正申告を

**答** 町長 会社や個人が賃金を支払う場合は、その都度、支払金に応じた所得税を源泉徴収することになっており、対象活動組織が構成員に対し活動への参加に応じて支払う日当等も源泉徴収している組織はありません。

いずれにしても国税に関する事なので、詳細は税務署が決定することになります。

町としては今後源泉徴収制度について説明し、日当や報酬を受けた場合、申告など必要な方には修正申告をしていただきます。

**問** 農地・水交付金については細かい規約がないことから問題視されているが、町民から安全管理、モラル等疑問視されるような組織に対して交付金の執行停止を含め、行政の指導強化を一段と図るべきと思うが、考えを伺いたい。

連携を密にして  
適切な行政指導

**答** 町長 保全会に対しては作業員や周辺住民、通行車両への安全管理、道路許可や水路管理者への届出等、法令遵守の活動が求められています。今回の案件は、一部不適切な部分はありませんが、今後、保全会と密に連携

しながら、適切な指導を行うことで、交付金の執行停止までは考えていません。



源泉徴収のあらまし



# 梨の凍霜害被害に対する町の対応について

## 町 県農漁業災害対策特別条例の説明会の開催

小林 俊夫 議員

**問** 近年の町の災害対策を踏まえ、今後の梨農家への対応は

県農漁業災害対策特別  
条例関係の説明会開催

**答** 町長 県農業振興事務所と連携しながら、梨農家栽培者に対し、県農漁業災害対策特別条例の災害形式などの説明会を行っていきます。

また、梨部会より町に陳情書が提出されているので、それらを踏まえて支援を検討していきます。

**問** 県条例で示された以外の農業・肥料等も対象になるか

**答** 農政課長 県から農業・肥料等について、基準がきていますが、同等品等も大丈夫と思うので、一応こちらに示されている単価が上限ということになります。

また、県の示している基準単価を超えてということでも県に対して要望しています。

**問** 税の減免はあるのか。

**答** 町長 町税条例に基づき町民税、国民健康保険税、介護保険料の減免について検討しています。なお、園地の固定資産税については、流出、埋没崩壊等の損害を受け作付不能な場合でないと対象になりません。消費税、所得税の減免等は、真岡税務署では現在の処、救済措置はないと言っています。

**問** 教育関係の対応は

町奨学金二次募集  
をお知らせ

**答** 町長 高等学校や大学に進学する際に、奨学金の貸与制度があります。今年度の奨学金貸与者については、先日の選考委員会で決定したところです。今年度はさらに第二次の申請受け付けを7月から実施したいと考えています。詳細については、町広報紙7月号やホームページでお知らせします。

**問** 農林漁業セーフティネット資金、東日本大震災復興推進基金、がんばろう栃木の農業緊急支援基金等の対象範囲を拡大して適用できないか。

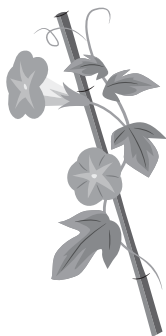
**答** 農政課長 がんばろう栃木の農業緊急支援基金については、対象になるという事で県からきています。

**答** 町長 県では、防霜ファンなどを、今年度新たに設置する場合増設分についても、補助対象として検討されるようです。

**問** 新たな支援の考えはありますか

**答** 町長 補助事業の新設や災害見舞金、災害経費の自己資金分の利子補給、町県民税などの減免などを検討していきます。

**答** 町長 5月23日に県知事、県議会議長に対し、凍霜害被害についての要望書提出したところです。国に対しても視察をいただいた県内選出の国会議員を通じて支援の検討をお願いしているところです。  
農林水産省職員も現地調査を行っています。



梨凍霜害現地調査



水沼 孝夫 議員

# 人口減少問題と少子化対策について

## 町 各部署から組織した検討委員会を立上げ、検討を

**問** 国立人口問題研究所が発表した地域別将来推計人口によると、芳賀町の2040年の人口は16,030人から23%3,679人減少し12,351人になってしまおうという統計が出ている。芳賀町の現状から、年少人口が約4割減少し、老年人口は逆に17%増加、構成比において総人口の37%が65歳以上の高齢者になる。生産年齢人口はマイナス35%で3,528人も減少する。このような状況を放置しておけば確実に町が破綻してしまふ。医療介護の問題、町財政の問題等、年少人口より多い2,803人へのぼる後期高齢者の面倒を誰がみるのか、人口減少問題に対する考えをお伺いします。

町行政のきめ細やかな対応により維持

**答** 町長 根本的な施策については国・県へ要望して行きたい。後期高齢者については社会全体で対応すべきで、国策である少子化対策や社会保障の充実を骨格に町行政のきめ細やかな対応により維持して行くべきと考えます。

**問** 日本の出生率低下問題では、原因の8割が未婚率の上昇であると言われている。残りの1割が出産年齢の高齢化及び不妊確率の上昇。もう1割が育児支援とか結婚後の環境問題。この2割が出生行動の低下と言われている。非婚化、晩婚化の背景にある経済状況や雇用慣行などの社会構造に起因する問題やミスマッチに対してであれば、政策的に対応は可能である。他市町と横並びの少子化対策や国の指示待ちでは到底この少子化は止まらない。少子化問題に対する検討委員会を早急に立ち上げ、全庁的に縦割りの弊害を排除した「人口減少・少子対策課」を組織すべきと思うが、お考えをお伺いします。

検討委員会の立ち上げを検討

**答** 町長 指摘のとおり少子化解消のための業務が山積している。特に産み育てる環境づくりをきめ細かく支援して行きたいと考える。また、部長制を導入し、行政組織体制の改革、組織の横断的運営により、各部署から組織した検討委員会を早急に立ち上げ検討していく。

**問** 芳賀町は、昼夜間人口比では、180・13%、昼間人口の27,866人を芳賀町に

定住してもらえればと考える。芳賀町になぜ住んでもらえないのか、それにはLRT問題、土地の利活用の問題、医療機関の問題、高等教育機関の問題等々、様々な要因が考えられる。定住促進について町の政策を伺います。

住居区域の整備を重点施策として

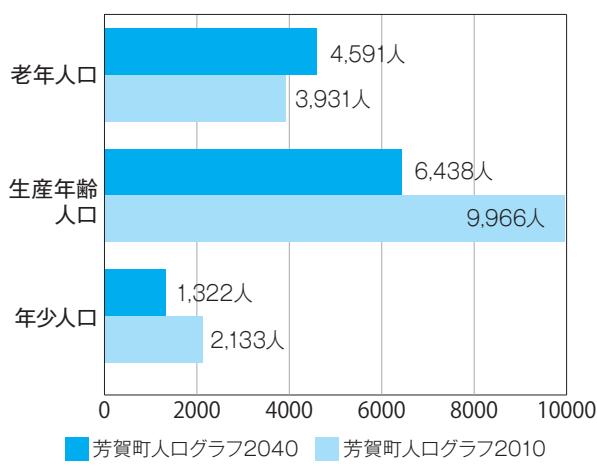
**答** 町長 芳賀町に住まない理由について、都市計画の線引きにより町内の住居区域は狭小で、かつ限定されており、定住促進を進める上での選択肢を狭める要因になっている。町内の住居区域の整備として、祖母井南

部区画整理、及び中部・北部整備、芳賀高跡地開発を町の重点施策として取り組んでいく。また、LRT等公共交通システムを含むインフラ整備もスピード感を持って進めて行く。

**問** 過去において先人達の投資によって今がある訳で、私達はきちんとした将来に向けての投資をして行かなければならない。税金を食いつぶして、借金と人口減少で破綻した町を子供達や孫の世代に残してはならない。負の循環を断ち切り、町の振興計画の見直しが必要だと思ふ。新たな地域産業の創出、稼ぐ行政運営、経営手腕が町にも必要だと思ふがお考えをお伺いします。

**答** 町長 その通りだと思ふ。確かに町には若干甘い面もある。稼ぐ構造づくりというのは非常に大切だ。一つ一つこれを実現して行くことだと考えている。

国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口』(平成25(2013)年3月)





# ネーミング制度について



北條 勲 議員

町 制度導入の効果を見極め、方向性を検討したい

**問**

ネーミングライツ制度は町有施設に愛称を付ける権利を期限付きで貸借することでスポンサーには自社PRの機会を提供し、町の新たな自主財源になります。

町ではこの制度を導入する考えはありますか伺います。

二丁ズや効果を見極め

今後の方向性を検討

**答**

町長 ネーミング制度の導入効果として、事業者側は企業名や商品名の宣伝効果が企業のイメージアップにつながります。

行政側は施設の維持管理等の安定的な財源の確保ができ、その財源により施設利用者へのサービス向上が期待できるといわれています。

栃木県や宇都宮市等で制度を導入していますが、行政が提示する希望額が高額であるため、契約が成立しないとの新聞報道がされています。

町では財源確保のため、町ホームページのバナー広告や芳賀チャネルのCM放送で利用していただきその収入がありますが額は僅かです。

このような状況を踏まえ、事業者の二丁ズがあるのか、制度導入の効果はあるのかを見極めながら今後の方向性を検討していきます。



けやき台 公園

**問**

命名権の売却は公有財産の処分にあたり、適切な議会の議決が必要ありません。

税金の落ち込みを税外収入でカバーする策は有効な手段です。町長に伺います。町として税収アップになる命名権に魅力を感じませんか。

**答**

町長 企業が命名権を買って下さるなら魅力はありますが、ただ、現在の状況を見ますとできないのではないかと。

**問**

埼玉県北本市のグリコふれあい通りの愛称で年額10万円で5年間の契約です。

企業誘致の担当者は命名権の10万円を確保するより逆に、グリコへ企業立地促進事業として命名権を無償で提供したのが市のためになるとの新聞コメントでした。

宇都宮市は清原工業団地からの、市税は約22%が入ります。芳賀工業団地から入る町税は何%ですか。



ひばりが丘公園 野球場

**答**

税務課長 6割強が税収になっています。

**問**

工業団地の税収は、宇都宮市の3倍、町にとっては大切な企業です。町は普段から工業団地の企業に気配りをすべき

と思います。工業団地にある町有施設を芳賀工業団地連絡協議会に、命名権を無償で提供する考えはありますか。

**答**

芳賀工業団地連絡協議会の中で検討していただき、企業の方が是非という事であれば実施する方向で検討したいと思います。



筈塚 歩道橋





### 増淵 さつき 議員

## 新しい子ども・子育て支援制度 町の取り組みは?

### 町 平成 27 年度から具体的な事業を推進

**問** 幼児期の学校教育・保育  
地域の子ども子育て支援を  
総合的に推進するため、昨年 8  
月 10 日、「子ども子育て関連三  
法」が国会で可決成立しました。  
市町村の責務が明文化された  
今、これからの町の子ども子育て  
支援についてお聞きします。

①これまでの「芳賀町次世代育成  
支援行動計画」とどうつながって  
いきますか。

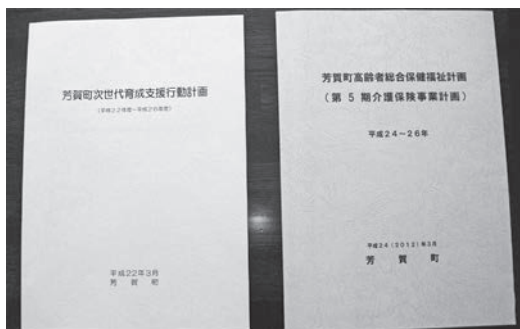
②子ども子育て支援事業計画の  
スケジュールは

③子ども子育て会議の設置予定  
は

④子育て世代のニーズの把握は  
どのようにするのか

国・県からの指針を得て  
進めていく

**答** 教育長 少子化の進行や  
深刻な待機児童問題、幼児  
教育の充実や子ども子育て支援  
の質・量の拡充などの課題に対応  
していくために成立したこの法律  
に基づき、市町村は子ども子育て  
支援事業計画を策定し 27 年度か  
ら具体的な事業を推進していく  
こととなります。



町次世代育成推進行動計画書

①現在の「芳賀町次世代育成推  
進行動計画」は国の次世代  
育成支援対策推進法に基づき  
平成 17 年度から 26 年度までを  
計画期間として進めてきたも  
ので、27 年度からは当計画を  
検証しつつ、新たな事業計画に  
移行していくこととなります。

②④今年夏を目的に子ども子育  
て支援のための施策を総合的  
に推進するための基本指針と  
ニーズ調査の案が国から示さ  
れる予定のため、国・県からの  
情報を的確に把握し進めてい  
きます。

③子ども子育て支援事業計画の  
策定に当たっては、関係機関の  
皆さまで構成する協議会等の  
設置を検討していきます。

人口減少社会の施策は  
どのように?

**問** 先ごろ、国立社会保障人  
口問題研究所は 2040 年  
栃木県人口推計を公表しました。  
65 歳以上の高齢化率は芳賀町は  
37.2%、2010 年比の上昇  
幅は 12.7 ポイントでした。

具体的な数字が示された今、  
町でも人口減少社会に対応した  
施策が急がれます。高齢化は介  
護サービスなどの需要が増える  
ことを意味しますが、今後の施設  
整備についてお聞きします。

町民の状況や国の動向を  
参考に決定

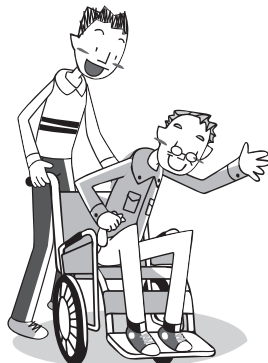
**答** 町長 栃木県高齢者支援  
計画はつらつプラン 21 におい  
ては、当町に特別養護老人ホー  
ムで 10 床、認知症高齢者グルー  
プホームでは 9 床の増設が位置  
づけられています。

現在、芳賀町を含めた周辺の  
特養施設とグループホーム 46 施  
設について、町民の入居待機の  
調査を行っています。これを分析  
し、必要と判断した場合は、今  
年度中に施設整備事業者を決定  
し、順次段階を経て 26 年度着工、

27 年度には利用可能となります。  
しかし、新規の介護サービスの  
提供は介護保険料の上昇にもつ  
ながります。介護保険制度報酬  
改定から一年経過し、国では施設  
介護から在宅介護に大きく舵を  
切りました。町でも国の動向を注  
視して判断します。

**問** グループホーム小規模多  
機能型施設みささかんや特  
別養護老人ホームはがの杜が整  
備された唐桶ため池周辺を町の  
福祉ゾーンとして整備してはど  
うですか。

**答** 町長 唐桶ため池は平成  
22 年 3 月に全国ため池  
100 選にも選ばれ、公園整備  
と相まって四季折々の変化を楽  
しむことができる自然に恵まれ  
た環境です。福祉ゾーンとしての  
活用も選択肢の一つですが、福祉  
施設の整備については、町内の地  
域バランスや町有施設と都市計  
画法の開発を考慮の上、整備した  
いと考えます。





## 楽しみにされる議会だよりを



廣木 初江さん  
(祖母井)

議会の様子が芳賀チャンネルで放映され、見ている方が増えていると伺いました。体操を見ているとか、民話を楽しみにしていると言う近所の方もおいでなので、かなり浸透してきたのでしょう

ところが我が家では、孫がいるため、子ども番組がもっばらで、私自身も食べると眠くなり、テレビそのものを見ることが少なくなりました。

こんな中、この「議会だより」は唯一『議会』を感じさせてくれます。欲を

言えば、「注目」とか「解説」とか、これは特に気にしてみたいというように、何か面白い項があると楽しみです。そういう意味では、表紙の写真には感心しています。特に145号は小学4年生の素敵な作品でした。どんな方のどんな写真が表紙を飾るのか楽しみです。

やがて、こうした活字の広報が不要になる時代が来るのだろうと思いつつも、だからこそ、作り手の意気込みに期待しております。

## 選挙立会人の時間を短く

昨年は、栃木県知事選、衆議院議員選挙今年度は参議院議員の選挙がありました。

選挙のたびに投票率が過去最低とかの報道がありますが、若者は本当に政治に関心がないのか、なぜ投票率が低いのか解りません。

投票日に都合のつかない方には、今も期日前投票があります。告示の次の日から投票日の前日までに行われています。

問題は、投票日の受付時間が当日午前

7時から午後8時までの13時間です。

本当にこんな長い時間必要なかは疑問です。もっと短くなれば職員も選挙立会人も助かると思います。

一番喜ぶのは、有権者でしょう。当落の集計が早く発表されるからです。

無駄な時間、無駄な費用を少しでも減らすため、また、選挙立会人が喜んで引き受けできる公職選挙法を早く改正しましょう



大和 修二さん  
(上稲毛田)

## ナスとピアノ



佐藤 芳武さん  
(東水沼)

「逢いみての後の心にくらぶれば

昔はものを思はざりけり」

芳賀町に誕生して早38年。特にこの三十路は父との死別、結婚、育児と目まぐるしく環境が変化し、責任が増し日々是決戦でありました。様々な事象との出会い、その時々々のステージで見えてくる景色、心境の変化とは不思議なもので、過去のもの思わぬ私に苦笑してしまうと同時に、父に何もしてやれなかった事、悔やまれます。

特段議会に意見がある訳でもなく、つれづれなるままに書いていますが、感謝すべきは保育園に子ども医療費と育児の中でひたすら恩恵に与っております。

心の汚れを清め身の行いを良くする処の学問の本質を、私自身自戒しつつも子ども達に学んでほしいと思います。そして、芳賀町が思い出の大地となり大蒼空へ羽ばたいてほしいと願います。

さて、ナス食べてピアノ弾くかな。

# 議会日誌

平成25年

4月

- 1日・辞令交付式
- 8日・芳賀中学校入学式
- 9日・各小学校入学式

5月

- 7日・全員協議会
- 16日・臨時議会
  - ・議員会・議友会総会
- 22日・町女性団体連絡協議会総会
- 23日・議会運営委員会
  - ・町政懇談会
- 29日・真岡線愛護会総会
  - ・チャレンジデー

6月

- 4日・第3回芳賀町議会定例会（～8日）
  - ・各常任委員会
- 7日・広報常任委員会
- 16日・消防夏季点検
- 21日・郡市議会議長会定例会
- 25日・中部環境衛生事務組協議会臨時会
  - ・芳賀中部上水道企業団議会臨時会
- 26日・県土整備委員会現地調査
- 27日・臨時議会
- 28日・芳賀広域行政事務組合理事会
- 30日・消防協会芳賀支部操法大会

7月

- 1日・産業建設常任委員会
- 11日・国道123号線改修促進同盟会総会
- 12日・教育民生常任委員会
- 22日・芳賀北部広域行政推進協議会



みずはし保育園 夕涼会

## 議会だよりの表紙写真を募集!

芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しております。

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマ「元気な芳賀町」（人物・風景等は問いません。）  
応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント（L版以上）またはデジタルデータ
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。



### 審査方法

芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。

応募締め切り 平成25年10月18日(金)

応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は11月発行予定です。



芳賀チャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は9月3日(火)です〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会をその日の20:00～と再放送を翌日8:00～に放映

## 編集室

2年前にはじまった、アラブ諸国の民主化。いわゆるアラブの春の先行きが怪しくなってきました。

環境の厳しい土地ほど独裁が育ちやすく、民主主義は醸成されにくいようです。

つまり、一握りの麦を民主的に分配すれば全員が飢え、子孫がたたれてしまう可能性が高くなるため、強力な指導者が独裁的に政を担ってきたようです。日本では、いかがでしょう。

よほどの事が無い限り飢えることのない太平と言える今日。先人が貧しさの中、懸命に働き、運動し勝ち取ってきた権利、投票権。

特に若い世代での投票率が低下しているようです。一票で社会は変わらないと思う自身が悪いのか、魅力的な施策を示せない政治家が悪いのか。

民主主義行使の一票が行使されることなく、投票率低下の一言で報道されることに、寂しさを覚える今日です。

(議会広報常任委員会)

副委員長 小林 一男(記)